

■ 研究(代表)者の経歴

※学歴・留学・職歴等について、本研究に直接関係する内容を簡潔にご記載ください。

※「科研費 研究者番号」「リサーチマップ URL」をお持ちの場合は、Web 入力欄にあわせてご記載ください。

期間(年・月)	学歴・職歴・所属等

■ 研究(代表)者および共同研究者の主な実績

※本研究に関する主な論文、著書、報告書等がある場合にはご記載ください。すべての実績を記載する必要はありません。

論文名	学協会誌・紀要名	年(西暦)	発表者名

■ 本研究助成への申請課題と過去の主な実績との違い、および今回応募する理由

2. 本研究で解決を目指す問題

※着想に至った背景とともに具体的にご記載ください。

【ご記入にあたっての重要な留意点】

本研究計画書は、**当該分野を専門としない審査委員も含めて評価**いたします。
専門用語の使用は必要最小限とし、使用する場合には、分野外の審査委員が読んでも理解できるよう、簡潔な説明を添えてください。

※ご記載後、**ご自身の専門外の方が読んでも内容が伝わるか**という観点で、必ず全体を見直してください。

※Web 入力した「研究の目的・内容と目指す研究成果」「独自性」「教育実践への反映と応用の方向」「社会的価値・波及効果」の内容を踏まえ、**審査において特に注目して評価してほしい点**を整理して記述してください。

【審査委員からのメッセージ（研究計画書作成のポイント）】

□審査においては、研究にかける熱意や教育への向き合い方に加えて、**研究内容や計画が、分野外の審査委員にも分かりやすく整理されているかどうか**を重視しています。

□研究計画書では、**一言で表すと何を行う研究なのか、どのような成果が得られるのか**が明確で、研究の意図や特徴が、読み始めてすぐに伝わる内容を意識してください。

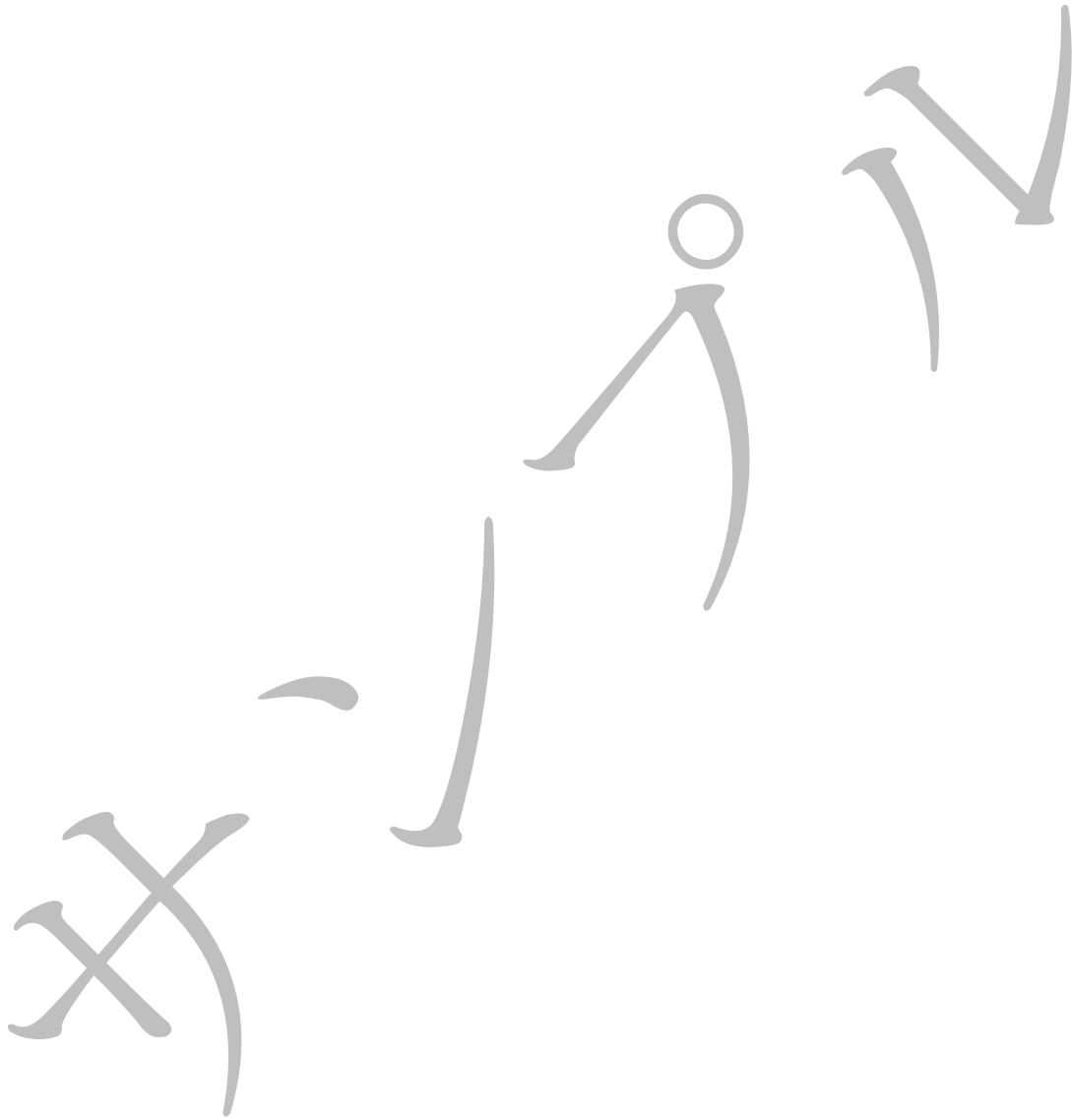
□研究計画・内容と比べて、研究タイトルとの間にズレを感じるケースも見受けられます。研究内容にしっかり対応した、**分かりやすいタイトルとなるよう工夫すること**を期待しています。

□一般の方が読んでも研究の目的や内容が自然に理解できるよう、**専門用語の使い方や表現にも十分配慮した研究計画書の作成**を心がけてください。

（記述の際、このボックスは削除してください。）

3. 研究方法

※どのような方法で何をどこまで明らかにするのか具体的にご記載ください。



4. 目標とする成果とその波及効果

※研究によって得られる知見は社会や教育場面にどのような影響を及ぼしうるのか具体的にご記載ください。

倫理的配慮について

インフォームド・コンセントや個人情報の保護・管理をどのように進めていくかについて、簡潔にご記載ください。該当しない場合には、その旨をご記載ください。

(枠の大きさは適宜、拡大縮小して構いません。記述の際、このボックスは削除してください)

5. 研究スケジュール

※Web 入力した申請金額内訳を前提に、**各期間の研究内容に関連する主な費目と概算金額**を記載してください。
金額は目安で構いません。

年月	研究内容	主に関連する費目・予算(概算)
20XX 年 4 月		
20XX 年 5 月		
20XX 年 6 月		
20XX 年 7 月		
20XX 年 8 月		
20XX 年 9 月		
20XX 年 10 月		
20XX 年 11 月		
20XX 年 12 月		
20XX 年 1 月		
20XX 年 2 月		
20XX 年 3 月		
20XX 年 4 月	報告書作成期間	

6. その他、選考において配慮を希望する事項（ある場合のみ、自由記載）